

つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町・若林地域訪問対策本部発 No.23 2011年4月26日

長町・郡山地区を訪問



今週は地域訪問を中心に、健康状態を確認し、日常生活に支障がないかを聞き取り、いろいろ要望があれば応えていこうと確認しました。

25日(月)の支援者は9名が来てくれました。3人1チームで3組が長町・郡山地区に、1軒1軒声をかけて訪問しました。

「長町病院です。体調をくずされていて、困っている方がいらっしゃらないか、ご近所を伺わせていただいています。何か困ったことはありませんか?」

午前中は、33軒訪し12軒の方とお話ができることができました。「長町病院からだよ」と家の奥からお父さん呼び出してくれました。「いつも長町病院にはお世話になっていますよ。」「地震で棚から崩れてきたけど大丈夫ですよ。ありがとうございます」と感謝の声も聞かれました。

午後からは軒訪問し軒の方とお話。子どもが眠れなかったりして、不安を抱えるお母さんが何人もおられました。子どもたちの心のケアのお話やチラシをお渡ししました。



年金生活で負担が心配

(4月23日より)

地震により洗濯機の水道工事が必要になりました。修理をしてもらったけれど5万円を超える額になってしまいました。年金生活では負担が大きいですので相談したい。

アパートに25年前から一人で住んでいます。74歳で高血圧を抱えています。今回の地震でアパートの損壊がひどく、取り崩すために立ち退きを言われている。

訪問中でのお話

地震対策では、「突っ張り棒やガラスのカギは絶対しておいた方がいいよ。それで家の中は、くずれなかったもの。」「ただ余震が続いているので、普段着で家族中寝ているんだよ。いつでも飛びだしていけるようにね」と、不安がないと話してくれていましたが、やっぱり不安なようです。

■昨日の行動■ 2011年4月25日(月)

□参加者	9名	累計	648名 (含む引越し作業69名)
□安否確認	49名	累計	4,240名
□訪問件数	49件	累計	3,724件
□避難所	件	累計	17